

ラーニング・アシスタント活動報告

日本語教育センター通信

第14号

日本語学習コース(レベル5B)

ラーニング・アシスタント(LA)
岡本 佳子さん(経済学部)

留学生と敬語でインタビュするクラスに参加しました。敬語を使っている様子でしたが、みんな間違いを恐れる様子で、明るく元気良く会話をしており、その中で積極的に「これはどうやって使いますか？」と聞いて練習をしていました。日本語の勉強方法は様々でしたが、特にイントネーションがきれいな子は、「日本人と聞いて話すことで勉強した」とのことだったので、まさに「習うより慣れる」だと感じました。



〈交換留学生の敬語の練習をサポートする岡本さん(右)〉

日本語学習コース(アカデミック日本語)

ラーニング・アシスタント(LA)
大原 千佳さん(文学部)

授業では留学生の発表のサポートや日本の諸制度の是非についてのディベートを行いました。留学生の積極的な授業態度や問題意識の高さ、そして彼らから見た「日本」を知ることでも自身も学ぶことがたくさんありました。ディベートではチーム一丸となって準備や本番に臨むことで、留学生とLAとの距離がぐっと縮まり、互いの異文化理解という点でもとても良い機会であったと思います。また、LAという立場として自分がどのように動けばより効果的な授業となるのか等を考えることも、貴重な経験となりました。



〈「日本語学習コース(アカデミック日本語)」担当のラーニング・アシスタントの皆さんと交換留学生。大原さんは後列右から3番目〉

日本語学習コース(レベル6B) 授業ボランティア報告

ボランティア
吉竹 佑里子さん(法学部)

参加したクラスの学生は、日本語を大変流暢に話していて、非常に驚きました。授業内容は、教育・就職など私たちの生活に関わり深いもので、同じアジア圏なのに文化・風習・考えが違い、一つのテーマについて様々な視点を得ることができました。留学生の一人から、今の日本人はマニュアル化しているのではないかという意見が出た時には、自分では気づかない新しい発見に出会いました。物事の見方を変えたい、自分と違う文化を持った人と交流したい人は、日本語ボランティアに参加することをお勧めします。とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。



〈交換留学生とディスカッションをする吉竹さん(右前)〉

国際交流基金関西センター

研修生との交流授業

ボランティア
上田 はるかさん
(国際学部)

国際交流基金を通して日本に来ている世界中の学生との交流会は、私にとってとても「わくわくする時間」でした。この交流会ではエジプト、ポーランド、インドネシアなど、私たちが普段あまり交流する機会がない国の学生と交流することができ、貴重な体験ができました。それぞれの国の学生による文化や伝統のプレゼン、食事会、どのコンテツも有意義なものでしたが、特に「時間」や「仕事」など様々なことについてみんなで話し合ったことは忘れられない思い出です。自分とは異なるバックグラウンドを持つ世界中の学生と価値観について真剣に話したり恋バナで盛り上がったたり、わくわくしっぱなしの国際交流でした。



〈研修生とボランティアの皆さん〉

履修に関するお知らせ

2014年度春学期日本語教育センター開講の選択科目の案内です。

＜学部留学生対象科目＞

- 日本語(読解・作文)
- 日本語総合演習A
- ビジネス日本語A1(NUC)
- ビジネス日本語B1(NUC)
- ビジネス日本語A2(KSC)
- ビジネス日本語B2(KSC)

＜学部生対象科目＞

- 日本語教育基礎1
- 日本語教育基礎2
- 日本語教育基礎演習

★上記科目は全てWebでの申し込みとなります。

【申込期間】

4月1日(火)8:50~4月3日(木)16:50

＜大学院留学生対象科目＞

- 日本語(論文作成A)
- 日本語(口頭発表A)
- ビジネス日本語A1(NUC)
- ビジネス日本語B1(NUC)
- ビジネス日本語A2(KSC)
- ビジネス日本語B2(KSC)
- 日本語(総合)

★大学院留学生対象科目の申し込みは、日本語教育センターにて受け付けます。申込期間などの詳細については、履修案内を確認してください。

発行人 関西学院大学 日本語教育センター
発行日 2014年2月1日